

国際機関等名	国連国際防災戦略 (英文名称・略称) UN/International Strategy for Disaster Reduction (UN/ISDR)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名	内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(災害予防担当)					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率						
単 位	金 額				拠出率(%) (注1)	ODA率(%)
	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト		
平成18年度	17,024	153		1\$ = 111円	(2006年) 1.0	0
平成17年度	16,050	150		1\$ = 107円	(2005年) 25.7	0
平成16年度	224,176	2043		1\$ = 110円	(2004年) 22.6	0
拠出上位5ヶ国・機関(注2)				国際機関等の財政 (2006年度決算)		
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	当該年度の収入 15,006,026.57ドル		
1位	世銀	5,000	33.31	当該年度の支出 8,906,631.00ドル		
2位	スウェーデン	2,938	19.58	次年度への繰越 6,099,395.57ドル		
3位	英国	1,821	12.14	会計検査機関名		
4位	欧州委員会	1,052	7.01	国連会計検査委員会		
5位	ドイツ	830	5.53	(UN Board of Auditors)		
上記の率及び順位は2006年のもの				(現在の構成員の出身国:仏、比、南ア)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
2005年1月、我が国の提案の下、国連総会決議に基づきUN/ISDRを会議事務局として国連防災世界会議が兵庫県神戸市で開催され、世界の防災活動の指針となる「兵庫行動枠組(2005-2015)」が採択されるなど大きな成果を収めた。当該行動枠組には我が国が提案した方針や施策が盛り込まれる、我が国の貢献も適切に反映され、国際社会から評価を得た。さらに、我が国は本会議の成果の実施及びフォローアップを重視しており、国際社会において、国連加盟国、国連機関をはじめとする国際機関等多様な関係機関の適切な連携、調整により防災活動がより一層促進されることが求められるところである。こうした役割を担う国連システム内の調整機関としてのISDRの役割は重要であり、我が国としては、引き続きその活動に対する支援を行う必要があると考えている。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価 国連防災世界会議の成果の実施及びフォローアップの調整機能を担うことが期待されているISDRがその役割を適切に果たすべく、ホームズ国連人道問題担当事務次長のリーダーシップにより、ISDRの機能強化に向けた検討が行われ、その結果、昨年12月の国連総会において、ISDRの新たな推進体制として各国政府、関係国際機関等からなる防災グローバルプラットフォームを設立することが決議された。我が国としては、国連防災世界会議の開催国として、その成果の着実な実施に資する機構改革を支持している。						
邦人職員数 うち幹部以上	3 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率	54 人(8月1日現在) 5.6 %			
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
なし						
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
幹部ポストへの邦人職員送り込み実現に向けて引き続き努力する。						

(注1) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年(2004年～2006年)。

(注2) 当該機関に対する拠出金の総額による各国の拠出額及び率。

(参考) この国際機関には内閣府の他に外務省からの拠出あり。